

# 自分たちにできることは？（青少年委員・ブロック別定例会）



今回は杉並区教育ビジョン2022の「一人ひとりが教育の当事者として心がける5つの視点」を取り入れて、地教連（地域教育連絡協議会）や地教推（地域教育推進協議会）などで何ができるかを話合いました。

今後も、10月のブロック別定例会、11月10日（木）の委員研修など、杉並区教育ビジョン2022について考え、交流する機会を予定しています。

地域で子どもの育ちを見守る委員として、活動を通して、自分なりの考えをもったり、他者の考えを受け入れたりなどして、理解を深めていきます。

会の最後には、一人ひとりが考えたこと、感じたことを発表、共有しました。

## 一人ひとりが教育の当事者として心がける視点

- 1 子どもの思いを尊重する
- 2 ちがいを受け入れる
- 3 対話を大切にする
- 4 学びの成果を贈り合う
- 5 社会を創る当事者として考える

～「杉並区教育ビジョン2022」より～

原点に戻って考えてみたい。

大人の連携、横のつながりを大切にするためにも子どもだけでなく大人も気を付けたい。

自分自身が常に心掛けたい。

学校と一緒にあって  
取り組んでいきたい。

難しい・・・

地教連にどう落とし込むかは、  
引き続き考えていく必要がある。

今の活動は5つの視点を意識  
してできていると思う。

